

2019年7月1日
 九州電力株式会社

九州電力大分支社に電気自動車のシェアリングサービスステーションを設置します — 7月1日からシェア開始でEV普及に貢献 —

当社は本日、大分支社の敷地内に、一般お客さま向けの電気自動車（EV）シェアリングのサービスステーションを設置しました。

今回の設置は、お客さまがEVの利便性・快適性を気軽に体験できる機会を創出するため、日産自動車株式会社の協力を得て、同社のEVシェアリングサービス「e-シェアモビ」を利用して行うものです。

当社は、「九電グループ経営ビジョン2030」において、環境にやさしく、利便性に優れた電気の良さや価値を、より多くのお客さまに感じていただくために、EV普及拡大を推進することとしており、本件はその取組みの一環です。

この他にも、社有車へのEV導入拡大や充電インフラの整備などに取組み、九電グループ一体となってEVを社会に広く普及させ、電化を推進することで、低炭素で持続可能な社会の実現を目指してまいります。

<EVシェアリングサービスステーションの概要>

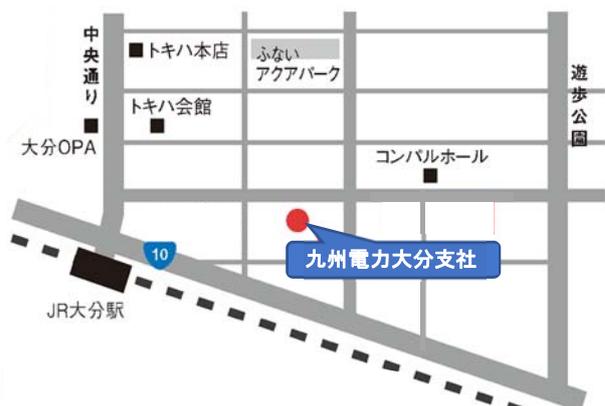
設置時期：2019年7月1日

場所：九州電力(株)大分支社（大分県大分市金池町二丁目3-4）

車種・台数：日産リーフ・1台



今回設置したEVシェアリングのサービスステーション



<参考>

運営主体：NISSAN e-シェアモビ
 申込方法・お問合せ先：e-シェアモビHPから会員登録申し込み
[リンク先 https://e-sharemobi.com/](https://e-sharemobi.com/)

以上



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」
 そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
 それが、私たち九電グループの思いです。